

試料・情報利用研究計画書(概要)					
研究番号	2023-1014	利用形態	共同研究		
研究題目	出生コホート連携に基づく胎児期から乳幼児期の環境と母児の予後との関連に関する研究			研究期間	2023年12月～2025年3月
主たる研究機関	国立成育医療研究センター	責任者 氏名・職	森崎 菜穂	部長	
分担研究機関	東北メディカル・メガバンク機構	責任者 氏名・職	栗山 進一	教授	
	北海道大学	責任者 氏名・職	岸 玲子	特別招へい教授	
	千葉大学	責任者 氏名・職	森 千里	センター長	
	浜松医科大学	責任者 氏名・職	土屋 賢治	特任教授	
	愛媛大学	責任者 氏名・職	三宅 吉博	教授	
	東北医科薬科大学	責任者 氏名・職	目時 弘仁	教授	
研究目的と意義	妊娠中の合併症・子どものさまざまな健康課題について、リスク因子の個別解析および統合解析を行い、周産期疾患および慢性疾患の予測・早期発見に活かすことを目的としています。				
研究計画概要	①研究対象: 国内の妊娠中から出生後にかけて追跡調査を行う出生コホート(北海道コホート、札幌コホート、東北三世代コホート、BOSHIコホート、成育母子コホート、千葉コホート、浜松母子コホート、九州・沖縄母子保健研究、大阪母子保健研究)に参加している参加者 ②研究方法: 集計情報あるいは氏名等の情報を研究IDに置換したデータセットを本研究参画機関に提供し、解析します。各追跡調査研究に含まれる個人が特定できる情報(氏名や生年月日)は、誰の情報かまったくわからない形にして研究に利用します。				
利用試料・情報	対象: 東北三世代コホートに参加している参加者 試料: なし 情報: お母さまおよびお子さまの基本情報(年齢・性別)、続柄情報、調査票情報、母子健康手帳情報、血液検査情報、生理機能検査情報、カルテ情報				
期待される成果	一つのコホートだけでなく、国内の複数のコホートで統合解析をすることで、これまで見出されなかった疾患の関連要因・予後が明らかになったり、これまで報告されてきた関連要因・予後の再現性を評価することが可能となります。				
倫理審査等の経過	2023年10月 国立成育医療研究センター倫理審査委員会承認				
倫理面、セキュリティー面の配慮	氏名など、本人を特定できる情報は解析に使用しません。個人情報厳重に守られます。研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。公表する際には個人が特定できない情報のみを発表いたします。				
その他特記事項	この研究は受託研究費(AMED)により実施します。				
(事務局使用欄)	*公開日 2023年12月20日				